

履修方法について

I 1995～1998年度入学者の履修上の通則

1. 修得すべき総合教育科目の総単位数は16単位とし、I類、II類の双方から、少なくとも4単位以上を履修しなければなりません。
2. 修得すべき外国語科目の総単位数は2科目24単位とし、1科目につき12単位を履修しなければなりません。
3. 修得すべき専門基礎科目の総単位数は12単位とし、基礎数学、簿記原理(または基礎会計学)、基礎経済学の3科目を履修しなければなりません。
4. 修得すべき専門教育科目の総単位数は52単位とし、5つのコースのうち、自分が属するコースから16単位以上(専門教育科目演習と論文を除く)を履修しなければなりません。ただし、「総合・学際コース」を選択する学生については、この要件を適用しません。
5. 修得すべき任意選択科目の総単位数は20単位とし、総合教育科目、外国語科目、専門基礎科目、専門教育科目および他箇所・他機関設置科目の中から自由に選択・履修します。各科目系列で定められている卒業に必要な最低履修単位数を超えて履修した科目をこの科目群として扱います。
6. 本学部においては、4年以上在学して、124単位以上を修得した人に「学士(商学)」の学位が授与されます。

II 1999～2000年度入学者の履修上の通則

1. 修得すべき総合教育科目の総単位数は16単位とし、各分野バランスよく16単位以上を履修しなければなりません。
2. 修得すべき外国語科目の総単位数は2科目24単位とし、1科目につき12単位を履修しなければなりません。
3. 修得すべき専門基礎科目の総単位数は12単位とし、基礎数学、簿記原理(または基礎会計学)、基礎経済学の3科目を履修しなければなりません。
4. 修得すべき専門教育科目の総単位数は52単位とし、5つのコースのうち、自分が属するコースから16単位以上(専門教育科目演習と論文を除く)を履修しなければなりません。ただし、「総合・学際コース」を選択する学生については、この要件を適用しません。
5. 修得すべき任意選択科目の総単位数は20単位とし、総合教育科目、外国語科目、専門基礎科目、専門教育科目および他箇所・他機関設置科目の中から自由に選択・履修します。各科目系列で定められている卒業に必要な最低履修単位数を超えて履修した科目をこの科目群として扱います。
6. 本学部においては、4年以上在学して、124単位以上を修得した人に「学士(商学)」の学位が授与されます。

III 2001～2004年度入学者の履修上の通則

1. 修得すべき総合教育科目の総単位数は16単位とし、各分野バランスよく16単位以上を履修しなければなりません。
2. 修得すべき外国語科目の総単位数は2科目24単位とします。3年度で履修する外国語Ⅲの8単位については、2つの外国語両方から計8単位履修しても、2つの外国語のうち1つの外国語だけで8単位履修しても構いません。
3. 修得すべき専門基礎科目の総単位数は12単位とし、基礎数学、簿記原理(または基礎会計学)、基礎経済学の3科目を履修しなければなりません。
4. 修得すべき専門教育科目の総単位数は52単位とし、5つのコースのうち、自分が属するコースから16単位以上(専門教育科目演習と論文を除く)を履修しなければなりません。ただし、「総合・学際コース」を選択する学生については、この要件を適用しません。
5. 修得すべき任意選択科目の総単位数は20単位とし、総合教育科目、外国語科目、専門基礎科目、専門教育科目および他箇所・他機関設置科目の中から自由に選択・履修します。各科目系列で定められている卒業に必要な最低履修単位数を超えて履修した科目をこの科目群として扱います。
6. 本学部においては、4年以上在学して、124単位以上を修得した人に「学士(商学)」の学位が授与されます。

IV 2005～2009年度入学者の履修上の通則

1. 修得すべき総合教育科目の総単位数は12単位とし、各分野バランスよく12単位以上を履修しなければなりません。
2. 修得すべき外国語科目の総単位数は2科目24単位とします。3年度で履修する外国語Ⅲの8単位については、2つの外国語両方から計8単位履修しても、2つの外国語のうち1つの外国語だけで8単位履修しても構いません。
3. 修得すべき専門基礎科目の総単位数は12単位とし、基礎数学、簿記原理(または基礎会計学)、基礎経済学の3科目を履修しなければなりません。
4. 修得すべき専門教育科目の総単位数は60単位とし、「経営」「会計」「商業・貿易・金融」「経済・産業」のいずれかのコースに属する学生は、自己が所属するコースから16単位以上(専門教育科目演習と論文を除く)を履修するとともに、他の3コースからそれぞれ最低4単位以上を履修しなければなりません。
「総合・学際コース」に所属する学生は、自己が所属するコースから16単位以上履修の要件は適用されません。ただし、「経営」「会計」「商業・貿易・金融」「経済・産業」の4コースからそれぞれ最低4単位以上、計16単位以上を履修しなければなりません。
5. 卒業に必要な単位数である132単位を満たすためには、総合教育科目、外国語科目、専門基礎科目、総合教育科目に定められた「修得すべき単位数」に加え、さらに24単位の履修が必要となります。この24単位を満たすためには、上記の4つの科目系列の中から「修得すべき単位数」を超えて自由に選択履修してもよいし、または他箇所・他機関設置科目をこれに充当することもできます。
6. 本学部においては、4年以上在学し、132単位以上を修得した人に「学士(商学)」の学位が授与されます。ただし、在学年数について3年半卒業が認められた場合はこの限りではありません。
7. 本学部では、極めて優秀な成績で所定の卒業必要単位を修得しかつ本人が希望する場合に限り、在学年数3年半での卒業を認める制度を設けています。

V 2010年度以降入学者の履修上の通則

1. 修得すべき総合教育科目の総単位数は12単位とし、各分野バランスよく12単位以上を履修しなければなりません。
2. 修得すべき外国語科目の総単位数は2科目24単位とします。3年度で履修する外国語Ⅲの8単位については、2つの外国語両方から計8単位履修しても、2つの外国語のうち1つの外国語だけで8単位履修しても構いません。
3. 修得すべき専門基礎科目の総単位数は12単位とし、基礎数学、簿記原理(または基礎会計学)、基礎経済学の3科目を履修しなければなりません。
4. 修得すべき専門教育科目の総単位数は64単位とし、「経営」「会計」「商業・貿易・金融」「経済・産業」の4コースの内、学生は自己が所属するコースから16単位以上(専門教育科目演習と論文を除く)を履修するとともに、他の3コースおよび「総合・学際科目群」からそれぞれ最低4単位以上を履修しなければなりません。
5. 卒業に必要な単位数である132単位を満たすためには、総合教育科目、外国語科目、専門基礎科目、総合教育科目に定められた「修得すべき単位数」に加え、さらに20単位の履修が必要となります。この20単位を満たすためには、上記の4つの科目系列の中から「修得すべき単位数」を超えて自由に選択履修してもよいし、または他箇所・他機関設置科目をこれに充当することもできます。
6. 本学部においては、4年以上在学し、132単位以上を修得した人に「学士(商学)」の学位が授与されます。ただし、在学年数について3年半卒業が認められた場合はこの限りではありません。
7. 本学部では、極めて優秀な成績で所定の卒業必要単位を修得しかつ本人が希望する場合に限り、在学年数3年半での卒業を認める制度を設けています。